



## GS20 受圧板の設置工 (フラットキャップタイプ)



GS20 受圧板の設置



頭部固定工 (フラットプレート取付工)



頭部カバーの取付け



フラットキャップによる頭部処理



## FRP 軽量受圧板

# GS20受圧板工



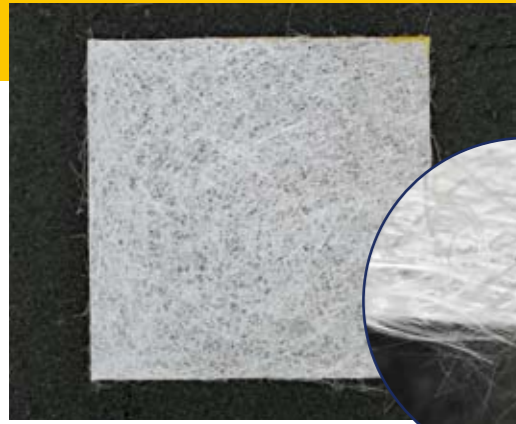
本社 〒310-0903 茨城県水戸市堀町9 5 9 番地  
☎ 029(225)2754(代表) 📠 029(227)2783

福島営業所 〒963-5321 福島県東白川郡矢祭町関岡字小坂77 番地  
☎ 0247(46)2622(代表) 📠 0247(46)3288

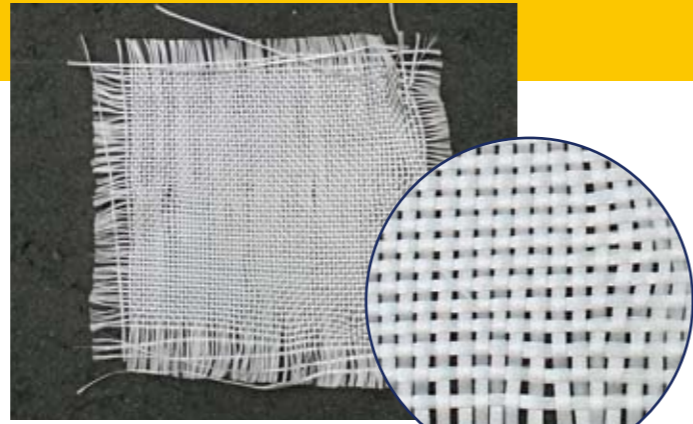


# GS20受圧板とは

強度特性の異なる2種類のグラスファイバーシート（glass fiber sheet）を20枚積層した軽量・超高強度の切土補強土工法用強化FRP受圧板です。



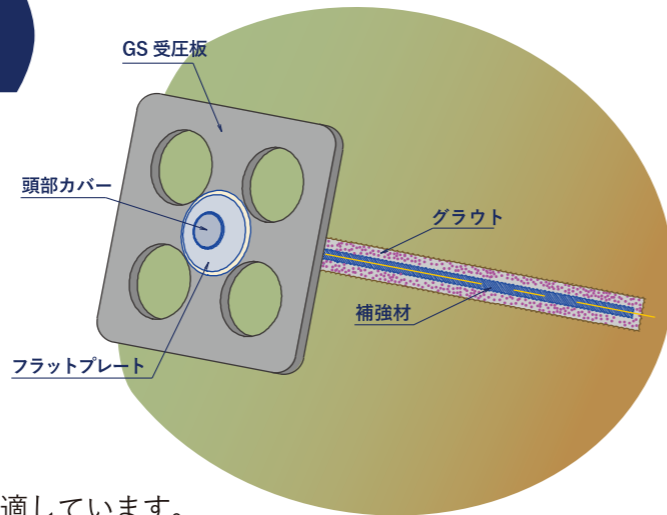
Aタイプ



Bタイプ

## GS20受圧板の特長

- 超高強度（設計荷重 150kN/枚以上）で軽量（8kg/枚以下）の切土補強土工法用受圧板です。
- 軽量で施工性にすぐれ、高所での人力施工や逆巻き施工に最適です。
- 工期の大幅な短縮が可能です。
- 工場生産で品質が安定している高耐久性受圧板です。
- 緑化タイプは全面緑化が可能で景観性に優れています。
- 腐食せず海岸地、温泉地、酸性硫酸塩土壌地の使用にも適しています。



## 設計方法

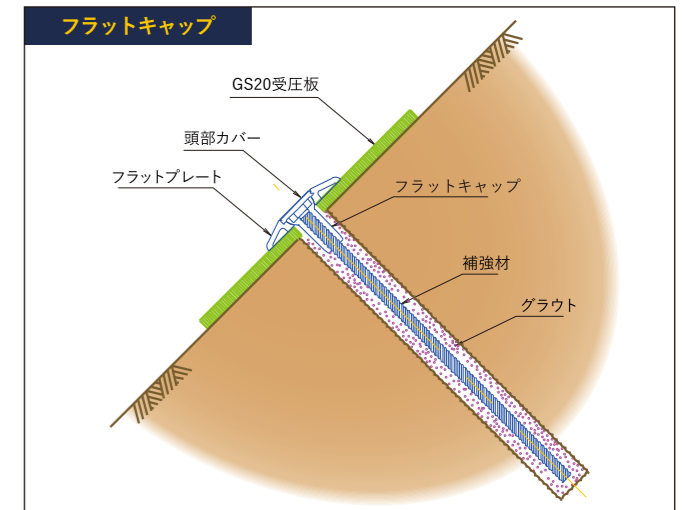
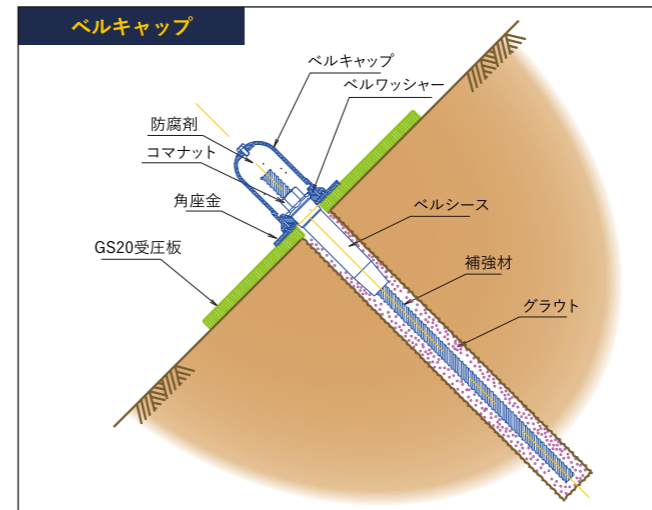
- のり面、斜面の表層崩壊抑止工法であり、鉄筋挿入工とGS20受圧板を併用する切土補強土工として、植生基材吹付工や吹付のり砕工、短繊維補強モルタル吹付工（ファイバーショット工）等と共に用いられます。又、既設構造物の補強工法としても利用できます。
- 鉄筋補強挿入工の設計はNEXCO「切土補強土工設計・施工要領」あるいは地盤工学会「地山補強土工法設計・施工マニュアル」に準拠して設計します。



4点支持載荷試験

	GS20 受圧板タイプ I	GS20 受圧板タイプ II
設計荷重（常時）	200 kN	150 kN
設計荷重（地震時）	300 kN	225 kN
のり面工低減係数	0.7	0.7
材質	強化FRP	強化FRP

## 頭部処理



## GS20受圧板の標準配置

GS20受圧板の設置は千鳥状の配置を標準とします。



GS20 受圧板タイプ I		GS20 受圧板タイプ II (緑化タイプ)	
	重量 8.0kg		重量 5.6kg
受圧面積 0.25m <sup>2</sup>		受圧面積 0.175m <sup>2</sup>	